

NTTグループ安全研修

～安全先取りの企業風土を目指して～

日本電信電話(株) 技術企画部門

◎ 1. はじめに

電気通信設備工事中における人身事故の撲滅に向け、これまでNTTグループ各社、協力会社において、工事マニュアルの制定や安全器具の導入、KY活動の推進、安全パトロール等といったさまざまな取組みを進めてきました。しかしながら、人身事故・設備事故の発生は続いており、また、同一原因による重大人身事故が連続で発生するなど、残念ながら改善が見られない状況が続いています。

このような事態を踏まえ、昨年度よりNTTグループ幹部による「人身事故等撲滅委員会」を開催し、優良施策の水平展開やグループ安全推進強化期間を設定するなど、グループ会社が連携して取り組むべき施策の決定・展開を行っているところです。

その一環としてNTTグループの、東西、コミュニケーションズ、ドコモ、ファシリティーズ、インフラネット、持株各社の幹部向けの研修を、中央労働災害防止協会（以下、中災防）様をお招きし、2日間にわたってNTT中央研修センターで開催しました。

また、本研修に先立ち情報通信エンジニアリング協会（以下、ITEA）様のご協力により、危険体感・実演を実施しています。

◎ 2. 危険体感・実演

ITEA様の協力のもと実施された危険体感・実演では、バケット車の



滑り落ちや、高所作業等を体験しました。バケット車の滑り落ち実演では、7度の傾斜地にバケット車を停車させ、間違った輪留め方法やアウトリガーの張出しを行い、7tもあるバケット車がいとも簡単に滑り始めるという事象を体感しました。

また、安全帯の装着、ベルブロックの取付け、つり線に立てかけた梯子への昇降等を実際に体験し、現場作業者が行う日常作業と、その危険度合いを体感しました。



その他、スレート屋根の踏抜きや濡れた屋根の滑り落ち、高所からの転落等についても実演し、危険度合いを肌で実感するとともに、基本動作遵守の重要性を改めて認識しました。

◎ 3. NTTグループ安全研修

安全研修では、作業の方が日々実施されている指差し呼称・唱和やKYT、問題解決ミーティング等を実践しました。



初めに参加者全員による安全唱和を行い、意気込みも新たに研修がスタートしました。続いて、ゼロ災に向けトップ自らの率先した働きかけにより、指差し唱和やKYミーティングを導入し、全社員が自発的に安全への取組みを行う企業へと改革を実現した事例をご覧いただき、幹部の率先した安全への働きかけが重要である事を再認識しました。

次に中災防 鈴木所長の講義では、人身事故の多数は不安全な状態と不安全な行動によって引き起こされており、事故を防止するためには、管理活動としてのハード面（安全器具の導入等）やソフト面（マニュアルの制定等）の対策、職場自主活動（指差し呼称等）のどれが欠けても成り立たず、幹部から現場作業者ま





で一体的・継続的に取り組む事が重要であると講演いただきました。

指差し呼称、唱和の実践では、日頃から実施している基本的な指差し唱和も、タッチアンドコール等を用い集中して実施することが注意力の向上や危険予知、基本動作の遵守につながる事を、また、健康問いかけ、KYの実践では、毎朝ミーティングや安全パトロール等において、職場リーダーが作業員1人ひとりに対して感謝の気持ちをもって接することで、安全に対する職場気運が高まり、自発的な活動の推進につながっていくことを実感しました。

さらに、問題提起・問題解決ミーティングでは、現在の職場に潜む問



題の提起と課題解決に向けた議論を参加者全員で実施するとともに、解決手法であるKYT基礎4R法の実践・習得を行いました。

最後に、本研修を踏まえて実際の職場において取り組む項目を参加者1人ひとりが決定し、事故のない職場作りを目指すという決意を胸に、参加者全員によるゼロ災唱和で本研修を締めくくりました。

◎ 4. 最後に

この2日間の研修により幹部の方々には、自発的な取組みが行われる企業風土にするため、さまざまな取組みを継続的に実施していく事が重要である事を理解いただけたのではないかと思います。かけがえのない命を守ることは何よりも最優先であることは論を俟ちません。明るく、風通しのよい職場作りを行い、安全を先取りできる企業風土を醸成するため、今後、安全推進者の育成等につなげてまいります。

※本研修は2回に分けて実施され、
2月1～2日、3月1～2日に開催



※情報通信エンジニアリング協会としては、日頃から安全への取組みを重点的に実施しているところですが、その活動を評価いただきNTTグループ幹部様向け安全研修をお手伝いさせていただく機会を得ました。今回、その趣旨と内容について本研修を企画されたNTT技術企画部門様にご紹介していただきました。

情報通信エンジニアリング協会 訓練部